

特集

- ・ペーパーショウ来月です!!
- ・「ペーパーショウ in 群馬」各ブースのご紹介
- ・紙オムツの歴史 1
- ・山の日
- ・原紙のサイズと由来

企画:頭の体操

ペーパーショウ来月です!!

夏本番となり厳しい暑さが続いています。夏バテ、熱中症は大丈夫でしょうか? 私もこの時期は特に水分をまめに摂るように心がけています。弊社では昨年より水宅配サービス(ウォーターネット)を始めました。おかげさまで、たくさんのお客様にご利用いただいています。最近ではお客様から「便利でいいね」や「お水美味しいね」などといったお言葉もかけて頂くようになり嬉しく感じています。いよいよ来月となりましたペーパーショウ in 群馬の会場にも、ウォーターサーバーを設置しています。ご来場の際は、是非お試し下さい。

そのペーパーショウですが、先月チラシとポスターも出来上がりました。以前より小紙にてご案内をしてまいりましたが、各出展者様の案内等の詳細も記載してあります。またペーパーショウのサブタイトルに「みて さわって たのしい 紙の世界」とあるように、今回のチラシには「タントセレクト TS-5 N-8」4/6判 130kgを使用しました。片面に細かいエンボスが入った紙で、さわった際に「おっ」と感じて頂ける事と思います。担当営業より随時ご案内をしておりますので、まずはチラシから楽しんで頂ければと思いま

す。ペーパーショウ当日も様々な所で、一風かわった紙を使用しています。「みて さわって たのしい 紙の世界」をどうぞ満喫してってください。皆様のご来場お待ちしております。

(み)

●名称

『第二回ペーパーショウin群馬』

～みて さわって たのしい

紙の世界～

●日時

平成29年9月8日(金)

10時～17時

9日(土)

9時～16時

●場所

ビエント高崎1階 エクセルホール

●出展団体

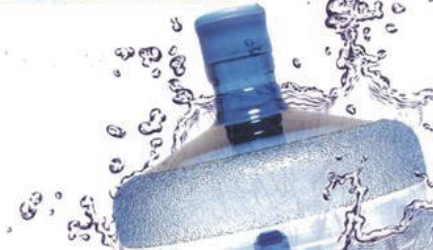
- ・群馬県デザイン協会
- ・群馬県書道協会
- ・群馬県達磨製造協同組合
- ・全国和紙ちぎり絵高崎サークル
- ・紙工房たかの
- ・日本包装システム
- ・三菱製紙・三菱製紙販売
- ・中越パルプ工業
- ・ユポ・コーポレーション
- ・平和紙業
- ・竹尾
他

●体験・イベントコーナー

- ・模擬投票体験コーナー
- ・リングノート作り
- ・紙バッジ作り
- ・メモ帳づくり
- ・折り紙コーナー
- ・ハガキサイズで作る、ちぎり絵体験
- ・高崎だるま絵付け体験
- ・書道教室
- ・手漉き和紙で、うちわ作り体験
- ・ミニゲーム ～挑戦!積み上げろ!
トイレット塔!～(小学生以下限定)

ミネラルウォーターの宅配サービス
water*net

おいしい水、安全な水が、いつでもそばにあるように。



「ペーパーショウ in 群馬」各ブースのご紹介

約半年前から本紙面上でお伝えしておりました「第2回ペーパーショウ in 群馬」ですが、いよいよ来月に迫ってまいりました。実行委員長としては、いろいろとやり残したことがあるように思っていますが、副委員長をはじめとした委員会のメンバーの支えがあるので安心です。

さて、日程などの詳細は1面を書いている副委員長に譲るとしまして、ここでは出展していただく各ブースの紹介をしたいと思います。といっても、全部は紹介しきれませんので一部だけ。

まずは、36 ユボ好きを自称する私といえど、ここ、「ユボ・コーポレーション」ブースです。前回の展示会は7月だったこともあり、静電吸着ユボで作った星をパーテーションに貼って、天の川を作ってもらおうというものでした。結構なご好評をいただいたようで、展示会終了時には見事な天の川ができていました。

今回は、前回同様の体験型の展示をお願いしていたところ、模擬投票を行っていただけのことになりました。もちろん、本物の投票用紙 VMFW(BP コート)は使用することができませんが、鉛筆での書き味の近いユボを使い、投票箱を持ち込んでくださるとのこと。さらに未確定ながら、投票用紙計数機も持ち込んでくださる予定だとか。なかなか見る機会がないですので、今から楽しみです。展示会にお越しの際には、ぜひ模擬投票を。皆様の1票をお待ちしております。

次にご紹介するのは、「リングノート作り」のコーナーです。ここは、前回はありませんでした。前回は弊社で「メモ帳づくり」コーナーを設け、来てくださった方に好きな紙を選んでもらい、天糊で製本をし、表紙をマスキングテープやシールでデコってもらいました。大人気だったので、結構お待ちいただいたり、場合によっては体験できなかった方もいらっしまったかもしれません。申し訳ありませんでした。今回はこの天糊製本のコーナーはそのままに、別にリングノート作りのコーナーを設けました。

このコーナーは、普段からリングノート作りのワークショップ等を行っている出展者さんにご協力をいただき、本格的なリングノート作りが体験できます。天糊製本のメモ帳づくりと同様、好きな紙を選んでもらい、自分だけのリングノートを作ることができます。しかも、天糊製本では糊が浸透しないため使えなかったユボが、リングノートでは使えるのです。投票用紙の書き心地の紙をメモ帳にすることもできます。憧れのユボのメモ帳があなたの手に！

3 つ目は「折り紙」コーナーです。皆さんは普段折り紙を折っていますか？ 最近の子供は、折り紙を折ることも減ったと聞きます。そんな皆様に、好きなだけ折っていただくこのコーナーを企画いたしました。折り紙コーナー担当が折り方を教えるでもなく（もちろん、折り鶴なんかは教えられます）ただ様々な紙が置いてあり、いくつかの折り図が置いてあるだけのスペースです。普段はなかなか折ることのできない大判サイズの紙や、こんなに厚くて折れるの？ という紙、はたまたなかなか折り癖のつきにくい紙などをご用意する予定です。折り鶴も折れないやという方から、8 時間かけてドラゴンを折ったことがあるという方まで、皆様のお越しをお待ちしております。余談ですが、折り癖のつきにくい紙の代表であるユボで「折りにくい折り紙」と銘打っておいたら楽しそうだなとユボの方に話したら、「折りにくい」はちょっと…といわれてしまいました。山櫻の商品「折りやすい折り紙」と比較で面白いかと思ったのですが。残念です。

各ブースの紹介をしてはいたはずが、いつの間にか全部ユボの話になってしまいました。お許しください。だって私ですもの。

このように、各出展者様、弊社社員一丸となって準備しております展示会「ペーパーショウ in 群馬」、ご期待ください！ 皆様のお越しを、心よりお待ちしております！！

(M)

紙オムツの歴史・1

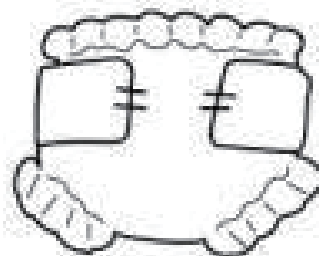
1940年頃にスウェーデンで子供用の紙おむつが初めてつくられました。当時スウェーデンでは、ドイツの経済封鎖により綿花と石けんの輸入がストップしたことで、赤ちゃん用の布おむつが作れなくなり、考案されたのが紙オムツでした。

当初の製品は吸水性のある紙を何枚も重ねてメリヤスの袋で覆っただけの簡単なものでしたが、使い捨てができました。また、取り替えの手間もかからず吸水性もよかったので布おむつの代用品として申し分なかったそうです。

やがてこの紙おむつは、吸収紙を防水シートでカバーする形に改良されながら、北欧やヨーロッパ各国へ

と広がっていきました。そして、戦後、アメリカに渡った紙おむつは、多くの工夫と改良が加えられ、布おむつの代用品の域を脱して普及していきました。

次回に続きます。



山の日

8月11日は「山の日」です。昨年より新しい祝日としてはじまりました。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨としていますが、8月11日という日が山に関する特別な出来事などの明確な由来があるわけではありません。お盆休みと連続しやすいことから当初は8月12日で考えられていましたが、1985年の日本航空123便墜落事故が起きた日と同日であったため、その前日になったというのが実情のようです。

話は変わりますが、群馬県にはかつて山の日があったことをご存知でしょうか？2010年に群馬県で行われた全国育樹祭において、群馬県他37団体による「ぐんま山と森の月間推進協議会」が10月の第一日曜日が「ぐんま山の日」と決めました。しかし、2016年から国民の祝日として「山の日」

が施行され、国民の祝日制定という目的の一つが達成されたことを受け、「ぐんま山の日」（毎年10月第1日曜日）・「ぐんま山と森の月間」（毎年10月）が2016年5月に廃止になりました。「ぐんま山と森の月間推進協議会」は名称を「ぐんま山と森林（もり）推進協議会」と改め、「ぐんま山の日」・「ぐんま山と森の月間」に行っていた啓発活動等は8月11日の国民の祝日「山の日」に合わせて行うことになっています。

2014年に「山の日」が制定されたことにより、定めて数年で「ぐんま山の日」は廃止されることになりました。他にも12県ほど独自に山の日を制定している県はありますが、そちらの山の日はまだ廃止にはならないようです。（お）

頭の体操

人に伝えたいことを正確に伝えるのは難しいことです。下記に、なぜ伝えたいことが伝わらないのかの理由を8つあげました。この中で適切でない理由はいくつありますか。

- ア. 伝え手が伝えたいことを十分に理解していない
- イ. 早口で一方向的にぺらぺら話すために話についていけない。質問もできない
- ウ. ことばを探すようにゆっくり話すのでかえってわかり難い
- エ. 抽象的な理屈っぽい話で頭に残らない
- オ. 話の組み立てが悪いので何を言いたいのかがさっぱり分からない
- カ. もうわかっていることを、またくり返して言うのでイライラする
- キ. 声が高過ぎたり低過ぎたりかすれたり聞き難い、発音が悪くことばがはっきりしない
- ク. 専門語や外国語、難しい漢語を多く使うので理解し難い

解答は裏面です→

原紙のサイズと由来

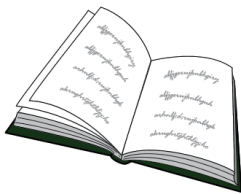
「原紙寸法」という言葉を聞いたことはありますか？「原紙寸法」とは、仕上がり寸法に裁つ前の、紙のもともとの大きさです。日本標準規格（JIS）ではA列本判・B列本判・四六判・菊判・ハترون判の5種類について「紙の原紙寸法」を定めています。

A列本判(625×880mm)

昭和4年（1929年）に当時の商工省が日本標準規格（JIS）を定める際に決められた寸法で、ドイツ規格のA列系統をそのまま取り入れたものです。A列0番を1平方メートルとし、長辺と短辺の比を1対 $\sqrt{2}$ とした四角形で0番を半分に折ったものが1番となります。印刷物は印刷後に仕上り寸法に切りそろえるため、A列本判の寸法はA列1番（A1）の用紙(594×841)よりひとまわり大きくなっています。

B列本判(765×1085mm)

A列本判と同じく昭和4年に日本標準規格（JIS）を定める際に日本独自の寸法として決められた寸法です。B列0番を1.5平方メートルとし、その他のルールはA判と同様です。したがって、B列本判の各辺はA列本判の各辺の $\sqrt{1.5}$ 倍ということになります。B列本判の寸法はB列1番（B1）の用紙(728×1030)よりひとまわり大きくなっています。



頭の体操 解答

正解は2つです。

伝わらない理由としてはウとカが不適切です。話しことばは、少し低めの声でゆっくり話すときに一番伝わります。また、話は1回聞いただけではなかなか伝わりません。大事な要件はくり返し伝えることが必要です。

四六判(788×1091mm)

明治初年に輸入されたイギリスの紙の規格であるクラウン判がもとになっています。クラウン判は、日本の標準的な寸法として親しまれ定着していた美濃判(388×265)の約8倍の大きさに当たるため、大八ツ判といわれて好まれました。この紙を4×8で折ると、横4寸2分、縦6寸2分の本になることから、この判型を四六判というようになり、さらに、ここから転じて原紙の名称も四六判となりました。

菊判(636×939mm)

もともとは、新聞用紙として、米国から輸入した紙の通称でした。新聞の「聞(きく)」にちなんで菊印として売り出したからとも、商標のダリアの花が菊に似ていたからともいわれています。

ハترون判(900×1200mm)

ドイツ語の「パトローネンパピアー（弾丸の薬莢を包む紙）」が語源と云われています。日本では第二次世界大戦頃まで作られていた「ハترون紙」という名称の包装紙の一種が、3尺×4尺(909×1212)であったため、現在の900×1200のサイズをハترون判と呼んでいます。

今回紹介した5つのサイズは主に印刷用紙のサイズです。ボール紙などは別の規格サイズがありますので、次回以降にご紹介いたします。

(せ)

スギウラ株式会社

〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号

代表
027-361-5808
営業1部
027-361-5734
営業2部
027-361-5780

Fax

027-361-1272

当社 Web サイト

www.kamisugiura.co.jp

お気付きの点や質問、疑問などありましたら、ご遠慮なく営業または、下記までお問合せください。

お問合せ メールアドレス

sg-okamoto
@kamisugiura.co.jp